

## 平成23年度事業報告

### 1. 防錆に関する調査研究を行う事業

#### 1.1 防錆管理士会（会長 大野 茂殿：会員数377名）

防錆管理士会は、国内に5支部を置き次の事業を行った。

##### (1) 本部事業（幹事長 ㈱竹中工務店 長谷川完殿）

防錆管理士会通常総会・懇親会を東京において開催したほか、講演会で配布された講演資料を印刷製本し、全会員に配布して講演会に出席できなかった会員への情報提供を行った。

##### (2) 東日本支部（支部長 日本大学 酒井哲也殿）

東日本支部は、「J X日鉱日石エネルギー㈱」の見学会を実施したほか、協会と共催で「地熱発電所のメンテナンスー地熱発電所の腐食とスケーリング対策についてー」九州電力㈱技術本部 総合研究所 草場 俊司殿、「鋼鉄道橋のメンテナンスー防食に関する現状と課題ー」公益財団法人鉄道総合技術研究所 材料技術研究所 坂本 達朗殿の講演会を開催し、最新技術についての情報提供を行った。

##### (3) 東海支部（支部長 ㈱興和工業所 津坂峯隆殿）

東海支部は、福島原子力発電所の事故により開催が延期されていた中部電力㈱浜岡原子力発電所の見学会を開催し、原子炉内部、コントロール室、津波予防のための防波堤工事並びに非常電源装置などの見学を行った。

##### (4) 西日本支部（支部長 ㈱タツタ環境分析センター 長沼 仁殿）

西日本支部は、橋の科学館・明石海峡大橋ブリッジツアー、日本リサイクルセンター㈱の見学会を開催した。

また、当協会関西支部が企画した旭金属工業㈱岐阜安八工場の見学と講演会を共催した。これらの行事開催を通じ、会員へ新技術の情報提供と地域への防錆防食技術の啓蒙普及をはかることができた。

##### (5) 九州支部（支部長 ㈹宮寄塗装工業 宮寄 香殿）

九州支部は、技術講習会「耐候性鋼橋梁などの実態調査と補修塗装方法の検討」独立行政法人 土木研究所 守屋 進殿ほか、「塗膜はく離剤による鋼構造物塗替えの紹介」三彩化工㈱ 久保麻威工殿ほかの講演会を開催すると共に、見学会「九州新幹線 熊本総合車両所」を開催するなど、防錆塗装技術の現況確認を行うとともに会員相互の情報交換と交流をはかった。

##### (6) 沖縄支部（支部長 ㈱ゆにてつくす 石原 實殿）

沖縄支部は、沖縄県在住の第51回防錆技術学校受講者と交流会を開催したほか、協会沖縄支部が企画した「沖縄における航空と錆について」元日本トランスオーシャン㈱ 国場和雄殿、「NTTにおける環境塗料の取組み」日本電信電話㈱ 竹下幸俊殿の技術講演会を共催した。

技術講演会の後、参加者による技術交流会を開催し、高腐食地域における防錆防食技術の啓蒙普及を図るとともに会員の交流を深めた。

#### 1.2 防錆防食材料部会（部会長 アドコート㈱ 清水良直殿）

防錆防食材料部会は、34社、42名の会員により次の事業を行った。

(1) 部会事業

防錆防食材料部会通常総会を機械振興会館において開催し、併せて「金属微小部品の腐食防止を目的とした超薄重合体の二次元重合膜の防食性能」慶応義塾大学 名誉教授 荒牧國次殿による講演会を開催した。

(2) 防錆油剤分科会（分科会長 出光興産(株) 有田裕司殿）

防錆油剤分科会は、REACH規制等についての情報交換を行った。

(3) 気化性防錆材料分科会（分科会長 アドコート(株) 清水良直殿）

気化性防錆材料分科会は、JIS Z 1519(気化性さび止め剤)、JIS Z 1535(気化性さび止め紙)の改正素案作成並びにさび止めフィルムの新規JIS規格の素案作成のための会議を行うとともに共同実験を実施した。

この実験成果は、第31回防錆防食技術発表大会において、目的ごとの3件に分け発表した。

また、欧州のREACH規制、CLP規制などについて会員間で情報交換を行うとともに、日本自動車工業会との意見交換会（工業会側17社21名、当分科会側3社6名が出席）を開催した。

(4) 被覆防食材料分科会（分科会長 ヤマウチ(株) 細見 勉殿）

国土交通省監修の公共建築工事標準仕様書について検討し意見書を作成するとともに、国土交通省の会議に出席して意見を開陳した。

(5) 自動車用化学製品分科会（分科会長 制研化学工業(株) 安実 港殿）

自動車用化学製品分科会は、部会事業に協力した。

1.3 溶射部会（部会長 独立行政法人海上技術安全研究所 植松 進殿）

溶射部会は、防錆防食溶射の施工技術並びに皮膜品質の向上を図ることを目的に「港湾鋼構造物の防食と維持管理」独立行政法人 港湾空港技術研究所 審良善和殿、「バラストタンク用低VOC塗料の開発と塗膜劣化診断について」独立行政法人 海上技術安全研究所 林原仁志殿の講演会を開催した。また、昭和61年（1986年）に開始した鋼管杭の暴露試験は、平成23年5月で25年を向かえ、6月15日～16日の両日、外観観察、膜厚、写真撮影を（千葉県千倉市）を行うとともに、第32回防錆防食技術発表大会への発表の準備を行った。

2. 防錆に関する技術者の養成を行う事業

2.1 防錆技術学校

防錆技術学校事業は、共通（基礎）課程の教科書のうち、基礎理論科目の改訂を行い、専攻課程の教科書についても個別に改定を実施した。また、「防錆防食用語辞典」を編集委員会の尽力により編纂発行し、講師、受講者に配布した。

また、教科書記載内容以外の最新技術情報を習得するため、月刊「防錆管理」を受講者に配布し、その学習効果についてアンケート調査したところ、93%の受講者から有益であるとの回答を得た。

第51回防錆技術学校は、施設防食科、防錆塗装科、防錆塗装科別科、めっき科、防錆包装科の5科構成で経済産業省、国土交通省、文部科学省、中小企業庁、日本商工議所の後

援を受け、広く産業界より受講者を募り320名の受講を迎えて、平成23年4月1日に開講した。

1年間の教育期間中、講師直接指導による学習指導及び面接講義を実施し、分野別の講義を入れるとともに、実力判定の筆記試験、学習の集大成である認定論文提出を経て、287名の修業者及び281名の防錆管理士資格者を養成した。

その結果、創設以来の修業者総数13,378名、防錆管理士総数13,203名に達した。

平成24年3月2日の修業式において、修業証及び認定証の授与を行うと共に成績優秀者に対し最優秀賞（5名）、優秀賞（26名）、論文賞（9名）を贈り表彰した。

### 3. 防錆に関する日本工業規格及び国際規格の制定及び普及に協力する事業

#### 3.1 国際規格

ISO/TC35（ペイント及びワニス）/SC12（塗料・関連製品施工前の鋼材の素地調整）国内委員会は、「平成23年度 国際回答原案作成」業務を受託し、24名の委員（委員長 日本大学 塗谷紘宣殿）で構成し、本委員会を1回、小委員会を1回開催した。

ISO規格の回答原案は、現在のブラストに関する20規格が本年度は対象になり、国内委員会で審議した後、電子投票を行った。

ISO8502-13 電気伝導度の直接測定法は、平成23年に再度、新規提案を行い、6月にフランス カンヌで開催された国際会議に派遣企業の協力のもと、中国塗料(株) 森栄二郎殿、東亜ディーケーケー(株) 服部浩行殿の2名を派遣した。

#### 3.2 日本工業規格

JIS Z 1519（気化性さび止め剤）のJIS改正原案作成事業を経済産業省の指導と（財）日本規格協会の人的・財政的支援をうけ、平成23年12月1日から1年間の事業として開始した。協会内に該件審議のためのJIS改正原案作成委員会（委員長 大阪府立産業技術総合研究所 左藤眞市殿）を組織し、今年度2回の委員会を開催し、平成24年10月末日答申に向けて精力的に活動している。

JIS K 3151（塗装下地用りん酸塩化成処理剤）は、改正準備のため、ISOとの比較を行った。

また、（財）日本規格協会の金属表面処理JISハンドブック編纂委員会に職員を委員として派遣し、当協会が原案作成したJIS規格の編集を中心に協力した。

#### 3.3 規格書籍販売

JISに引用しているISO 8501（未塗装鋼材及び旧塗膜全面剥離後の原板のさび度及び素地の仕上げ等級）と関連する規格図書を（財）日本規格協会から委託を受けて、割引価格で領布した。

### 4. 防錆に関する参考図書及び資料を作成し、又はこれを配布する事業

#### 4.1 機関誌「防錆管理」

月刊技術誌「防錆管理」の編集委員会（編集委員長 岡 襄二殿）は、分野別専門家18名の委員で構成し、14回の編集委員会で検討を重ねながら、55巻4月号より56巻3月号までの12号を発行した。

連載としては、「鋼構造物の塗装設計に関する考察」「ブラスト処理」の連載のほか、防錆防食専門分野ごとの記事、行事報告、コーヒーブレイクを掲載し、会員相互の情報交

換の場としての役割を担っている。

また、機関誌に昭和62年より掲載を開始した「防錆防食用語解説」は、過去に掲載した内容の修正審議を重ねながら、未執筆部分の追加を行い、防錆防食用語辞典として10月末に刊行した。

#### 4.2 書籍販売

現有 11 タイトルの書籍販売に努めた。

### 5. 文献、資料及び情報の収集を行い、これを閲覧に供する事業

#### 5.1 防錆防食技術発表大会

第31回防錆防食技術発表大会実行委員会（実行委員長 阿部正美殿）は、専門分野ごとの委員 18 名で構成し、平成 23 年 7 月 7 日、8 日の 2 日間、東京・五反田の「ゆうぼうと」において 311 名の参加者を得て開催した。

特別講演は、「中国の海洋環境の腐食・防食」中国科学院海洋研究所 侯 保栄殿、「都市鉱山とレアメタルの活用範囲」独立行政法人 物質・材料研究機構 原田幸明殿の2件を、第29回から開始した「いまさら聞けない用語」は、「腐食電位」東京工業大学大学院 水流 徹殿に、また、「東京湾横断道路―橋梁―」をビデオ上映するとともに、技術発表27件、腐食事例 3件、製品技術発表 4件が行われた。

大会開催で回収したアンケート結果は、機関誌「防錆管理」55 巻 12 月号から概要を報告した。

#### 5.2 インターネットによる情報の提供

ホームページ ([www1.sphere.ne.jp/jacc/](http://www1.sphere.ne.jp/jacc/)) を通じて、当協会活動状況の情報公開（事業計画・収支予算書、防錆技術学校、防錆防食技術発表大会、出版物、各部会、防錆管理士会行事の紹介など）を行った。

また、防錆管理士資格者の所在不明者名簿を掲載し、情報の提供を求め、逐次修正を行った。

### 6. 防錆に関する参考材料の展示を行う事業

平成23年7月7日、8日の2日間、「ゆうぼうと」において開催された第31回防錆防食技術発表大会において「カタログ展示コーナー」を設置し、防錆防食関連カタログを展示して会員並びに来場者に技術情報の提供を行った。

### 7. 防錆に関する技術相談並びに研究の受託及び委託を行う事業

防錆に関する12件の技術相談並びに研究を受託し、産業界の要望に答えた。

### 8. 防錆に関する技術向上のため発明、研究に対する顕彰を行う事業

(財)スガウエザリング振興財団が主催する「第29回スガウエザリング振興財団表彰」に第29回防錆防食技術発表大会の特別講演で「東京スカイツリーの建設概要」を講演された(株)大林組技術研究所 堀 長生殿を推薦したところ受賞が決定し、平成23年4月27日開催の授賞式において表彰状が授与された。

### 9. 防錆に関する事項について政府その他に対し意見を開陳する事業

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の平成22年版「公共建築工事標準仕様書」並びに「公共建築改修工事標準仕様書」について改正意見を国土交通省に開陳した。

## 10. 一般社団法人移行申請準備事業

一般社団法人への移行を目指して組織された「移行申請実行委員会」(委員長 東京ガス(株) 梶山文夫殿)は、公益目的支出計画の作成、申請に必要な諸規定の制定・改正を行い、平成23年8月24日内閣府に移行申請を行った。

平成23年11月14日に内閣府から移行認可の内示を受け、この経緯を11月28日開催の平成23年度第2回理事会に委員長から報告した。なお、当該委員会はその目的を達成したため、理事会報告日をもって解散した。

## 11. 本会の目的を達成するために必要な事業

### 11.1 支部事業

当協会は、中部支部、関西支部及び沖縄支部の3支部を設置し、各支部がそれぞれに活発な活動を行い、地域の防錆防食技術の向上・普及に努め、地域経済の発展に大きく貢献した。

#### (1) 中部支部 (支部長 沖 猛雄殿)

総会 平成23年6月17日、通常総会(書面審議)を開催した。

幹事会 平成23年6月17日、幹事会(書面審議)を開催した。

例会 第174回例会(平成23年9月14日)を愛知県産業技術研究所において、第175回例会(平成24年1月26日)を産業技術センターにおいてそれぞれ開催し、「腐食促進試験法及び試験機の最新動向」スガ試験機(株) 中村大輔殿をはじめ2件の講演を行った。

共催 平成23年11月5日～6日、信州大学において中部化学関係学協会支部連合協議会と共催で第42回中部化学関係学協会支部連合秋期大会を開催したほか、平成24年3月2日に関西支部と共催で旭金属工業(株)岐阜安八工場の見学と講演会を開催した。

その他 一般社団法人表面技術協会中部支部主催の平成23年度表面技術若手研究者・技術者研究交流発表会(平成23年11月28日)に協賛した。

#### (2) 関西支部 (支部長 羽田隆司殿)

総会 平成23年6月14日、難波市民学習センターにおいて通常総会を開催した。

幹事会 平成23年6月14日、8月1日、平成24年2月14日、難波市民学習センターにおいて幹事会を開催した。

幹部会 平成23年12月19日、難波市民学習センターにおいて幹部会を開催した。

講演会 平成23年6月14日に「耐食性評価試験の国際規格の現状と動向」スガ試験機(株) 須賀茂雄殿、平成24年3月2日に「航空産業の現状」旭金属工業(株) 山中泰宏殿の講演会をそれぞれ開催した。

見学会 平成24年3月2日に旭金属工業(株)岐阜安八工場の見学会を開催したほか、防錆管理士会西日本支部と共催で平成23年7月22日に橋の科学館・明石海峡大橋ブリッジツアー、11月30日に日本リサイクルセンターの見学会を開催した。

講習会 平成23年8月29日・30日、東大阪市立産業技術支援センターにおいて、「金属の腐食と電気化学(講義と実習)」を実施した。

(3) 沖縄支部（支部長 屋良秀夫殿）

総 会 平成23年6月24日、沖縄テレメッセージビルにおいて通常総会を開催した。

幹事会 平成23年4月22日、5月11日、7月5日、9月13日、9月30日に幹事会を開催した。

講演会 平成23年6月24日に沖縄テレメッセージビルにおいて(株)沖縄建装工業並びに(株)エムテックの会社紹介講演会、12月2日に沖縄職業能力開発大学校において「沖縄における航空と錆について」元トランスオーシャン(株) 国場和雄殿、「NTTにおける環境塗料の取り組み」日本電信電話(株) 竹下幸俊殿の講演会をそれぞれ開催した。

海 外 「沖縄支部大韓民国視察団」を組織し、平成23年11月8日から大韓民国を訪問し、関係施設の視察を行った。

1 1 . 2 関係省庁及び関係団体との協力事業

関係省庁及び関係団体の要請により役員及び委員を派遣した。